

事業者における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：令和 6年 3月 4日

事業所名 放課後等デイサービス 花園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			転倒時のケガを防ぐためにクッションマットをフロアに敷き詰めています。 頻繁に動く利用者さんいますが、接触事故は起こっていません。
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			建物入口が雨天時に滑りやすくなるため、こまめな声掛け、滑り注意の文言をビル管理者に入れてもらうなどして対応しています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			利用者さん達が登所する前や降所した後に業務改善を進めるための話し合いを職員間で行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向けのアンケート調査や日々の保護者とのやり取りの中で得た情報を活用し業務改善につなげています。保護者の皆様の協力やお心遣いのお陰で日々業務を円滑に進めることができます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			障がい児療育に博識な方にコンサルティング業務委託を行い外部評価を受けています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	引き続き新型コロナウイルス感染症やインフル等の影響もあり研修の開催が難しくなりました。	新型コロナウイルス感染症やインフル予防のため研修を行う機会が十分に確保できませんでしたが、小グループでの研修を外部講師を招き行う予定です。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			ニーズや課題を客観的に分析しながらも、子ども達や保護者の皆様の心情にも寄り添えるような支援計画を作成するように心掛けています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			事業所側で用意したもので完璧なツールとは言えません。ただ今後も必要時にアップデートしていけるように日々努めています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			月初めに1ヶ月分の計画を職員ミーティングをしながら立てています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			下校時間が早い日は公園に行ったり、お散歩することにより体を動かし、また図書館へ行き子ども達と一緒に好きな本を見たり、借りたりしています。長期休暇中は活動に飽きが来ないように少しずつメニューや趣向を変えた活動を取り入れ子ども達が楽しく過ごせるように工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			子ども達を取り巻く状況が個々に違いすぎ活動計画を立てて行くのが難しい現状がありますが、事業所としては子ども達皆が平等に楽しんでもらえるよう日々計画作成に時間を費やしています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			新たに職員の組織編制を見直し、職員間の情報共有がスムーズに行くように改善しました。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			記録の量がとても多く、そちらに気をかけすぎると一番肝心な子ども達の支援が手薄になるので、バランスがとれるように記録方法の改善や時間の調整を行っています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			引き続き事業所利用が極端に少ない子ども達に対するサービス計画作成が課題です。引き続き登所率をあげられるよう対策を練って対応していきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			ガイドラインに限らず、教則本等の内容は事業所が抱える状況に微妙に当てはまらないことが多く、せつ々の参考資料を上手く活用できていない現状があります。今後職員の資質向上を図りながらガイドライン等もきちんと活用してけるように努めます。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			親御さんの協力や学校の先生方のご尽力もあり子ども達が通うほとんどの学校とは良い関係性を構築させていただいています。引き続き学校ともしっかりと連携を取らせていただけるように努めます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			子ども達の主治医と直接お会いしてお話を聞くことはあまり行っていないのが現状ですが、必要がある場合は親御さんに間に入ってもらう連携体制を整えています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			各機関の皆様と連携を取らせていただきながら対応をしています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		障がいのない子ども達と過ごすことで過去のトラウマや極度の緊張に陥る利用者さんがいるので積極的に交流を持っていますが、ボランティアの学生さんに事業所に来ていただいたりしてみようかと計画中です。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		新型コロナウイルス感染症やインフルエンザのため積極的には参加できませんでした。状況を見て改善できればと思います。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			子ども達の支援に関しては保護者の皆様と一緒に考えて連携を取らせて頂きながら行っています。
		⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	保護者会の要望がありませんでした。	保護者会等に参加することが苦手な親御さんが多かったり、新型コロナウイルス感染症やインフル予防のため当事業所では保護者会等を積極的に催していません。ただ親御さんから希望等あれば計画させていただきます。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった場合はすぐに事業所内確認を行い、その後市の障害福祉課に連絡を入れ相談させて頂いています。子ども達に不利益が生じないように細心の注意を払いながら法令に則った対応を心がけています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		諸事情により定期的な会報は停止中です。ただ行動予定等は親御さんに直接お伝えしたり、その都度お知らせを配布したりして対応しています。ただ、まだそれらも十分ではないので今後保護者との情報共有の機会を増やすなど改善していけるように努めます。
	③⑤	個人情報に十分注意している	○		日々個人情報の取り扱いには十分に気を付けていますが、仮に流失が認められた場合は細心の注意を払いながら速やかに対応いたします。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	個々に面談をしたり、筆談、絵カードを利用して対応しています。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		町内会の活動に参加するなど努力はしていますが、事業所に地域住民を招待する等のイベントを行うのはかなりハードルが高いので今後何かできないか検討致します。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		改善はされて来ましたが、まだマニュアル作成に関して保護者の皆様に対する説明がまだ不十分であったので引き続き対応を考えて保護者の皆様に周知していきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		火災、水災害、地震を想定した避難訓練を年に3回行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修等には参加をしていますがまだ十分とは言えないので、今後も虐待防止に関する情報に気を配りながら支援に取り入れていきます。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		今まで身体拘束が必要な子ども達がいたことがないのでサービス計画に明確に記載していません。今後しっかり書面にて保護者の皆様に周知し、記載するよう対応します。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師の指示書を持っている利用者さんに関しては拝見させていただき、それ以外の利用者さんに対しても親御さんと連携しながら対応をしています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録等が完璧ではない部分が確認されたので改善に努めます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。